

令和4年

3月13日(日)

要予約  
先着順70名

午後1時30分～午後3時30分  
(開場 午後1時)

聴講無料

会場/榎原市役所分庁舎ミグランス4F  
コンベンションルーム

申込方法/FAX又はE-mailでお願いします。

詳細は裏面をご覧ください。

主催/NPO法人 八木まちづくりネットワーク

後援/榎原市

問合せ/Tel.080-2530-7828

一部/「JR畝傍駅 駅舎の歩み」

一般社団法人 奈良建築士会 会長 米村博昭

二部/「畝傍山・神武陵・榎原神宮の近代」

京都大学人文科学研究所 教授 高木博志

景観まちづくり講演会  
畝傍山・神武陵

榎原神宮の近代



講師/高木 博志

1988年立命館大学文学研究科博士課程後期修了、1991年北海道大学文学部助教授、1998年京都大学人文科学研究所助教授、2012年同教授。主な著書に、『近代天皇制の文化史的研究―天皇就任儀礼・年中行事・文化財』『近代天皇制と古都』『陵墓と文化財の近代』『博物館と文化財の危機（共編）』など。

# 「畝傍山・神武陵・橿原神宮の近代」 講師/高木 博志

日本書紀には、672年に大海人皇子（のちの天武天皇）が、壬申の乱の勝利を祈願して「神武天皇陵」に武器などを奉納したとあります。すなわち今日の古代史では、古事記・日本書紀の編纂が本格化する7世紀後半に、始祖としての「神武神話」が創り出され、壬申の乱からそう古くない時期にその墓が造営されたと考えられています。そして平安遷都後に、忘れ去られた神武陵を再び、1863年に畝傍山麓のミサンザイに修陵事業により造営するのです。つまり神武陵は1200年あまりの間に2度、創造されたのです。そして明治維新の理念は「神武創業」であり、1890年には神武天皇を祀る橿原神宮が創建されました。幕末から1940年の紀元二千六百年記念事業まで、畝傍山山麓は、畝傍山・神武陵・橿原神宮からなる三位一体の聖地、神苑として景観整備されてゆきます。この間には、洞・畝傍・久米などの村々の移転問題もあります。また幕末以来の神武陵への参詣路は今井町から1893年の畝傍駅（高田・桜井線）開業後も南下ルートですが、1923年の橿原神宮前駅開業により、橿原神宮門前や神苑整備とともに人の流れが変化してきます。こうした「神武創業」を視覚化する近代のプロジェクトを、段階を追って考えてゆきたいと思います。



1919年の畝傍山北麓



畝傍山周辺 航空写真



## 同時開催イベント

### 八木町 近世・近代文書展

入場無料、申込不要

おかげ参り・三山小学校・畝傍駅駅舎文書を展示

日時：令和4年3月11日(金)～13日(日)

午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

場所：八木札の辻交流館 2階（橿原市北八木町2丁目1番1号）

### 貴賓室公開と町歩き

参加費無料、事前申込して下さい。

開催日：令和4年3月13日(日) 少雨決行

時間：集合 午前10時 終了 午前11時30分予定

場所：JR畝傍駅

定員：先着30名(要申込、参加費無料)

## 申込方法

申込方法：令和4年2月1日(火)より申込み開始です。住所、氏名、連絡先(電話)、参加人数、町歩きイベントへの参加・不参加をFAXまたはメールでお知らせ下さい。定員に達し次第、締め切らせていただきます。個人情報に関して他の目的で使用することはございません。

## 1.FAX申し込み用紙

# FAX 0744-22-2010

参加者のお名前（複数の場合は連名で）		参加人数
ご住所		人
ご連絡先 TEL FAX	町歩きイベント <b>参加 ・ 不参加</b>	

## 2.E-mailアドレス：info.yaginet@gmail.com

メールの場合は、件名を「景観まちづくり講演会申込み」とし、本文に氏名、参加人数、ご住所、ご連絡先、町歩きイベントへの参加・不参加をご記入の上、上記のアドレスにお送りください。

●新型コロナウイルス感染症の情勢によっては、内容の変更や、やむを得ず中止する場合があります。●発熱(37.5度以上)や、せきなど風邪の症状ほか体調に不安のある方はご来場をご遠慮ください。●会場では必ずマスクを着用してください。●新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、ご来場のお客様の情報を保健所などの公的機関に提供することがあります。あらかじめご了承ください。